

調査概要

- ① 調査対象 本市在住の16歳以上の市民、1,500人(住民基本台帳から無作為抽出)
- ② 調査方法 郵送による配布・回収
- ③ 調査期間 平成18年8月24日～9月11日
- ④ 調査結果 ○配布票数 1,500票
○回収・有効票数 693票(回収率46.2%)

安曇野市では、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、市民の皆さん・行政・地域で活動している関係機関・団体などが相互に助け合い、支えあう仕組み

8月から9月に実施した「地域福祉に関する意識調査」の結果がまとまりました。その概要についてお知らせします。

地域福祉意識調査の結果

地域福祉計画

づくりを進めていく「安曇野市地域福祉計画」を平成18年度、19年度の2カ年で策定しています。計画の策定にあたり、「地域福祉」に対する市民の皆さんの考え方や意見を把握するため

平成18年8月から9月にかけて意識調査を実施しました。市では、調査結果を踏まえ、皆さんのご意見を反映した地域福祉計画にしたいと考えています。その調査結果がまとまりましたので概要を紹介します。

地域への関わり

地域活動に参加している運やと、将来参加を希望している分野を聞きました(図1・2)。現在参加している地域活動と今後参加したい地域活動につい

図1 現在

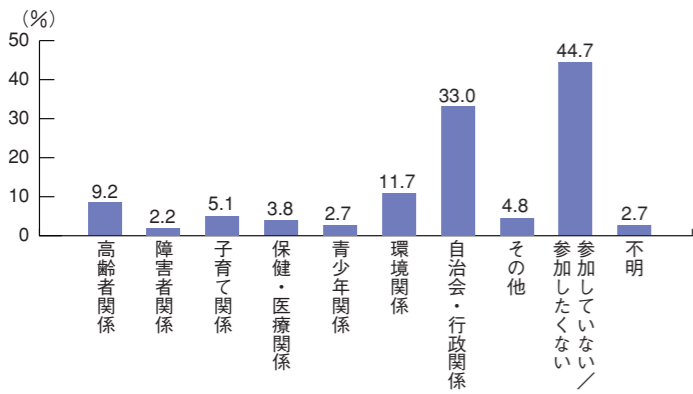
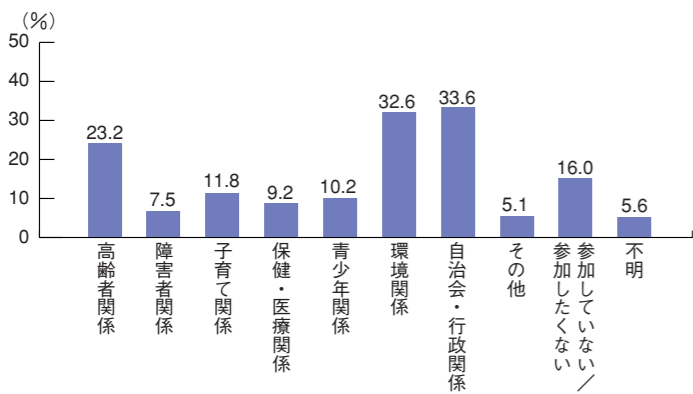


図2 将来

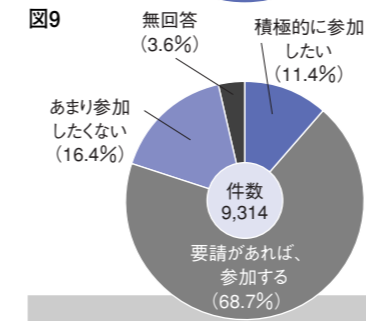
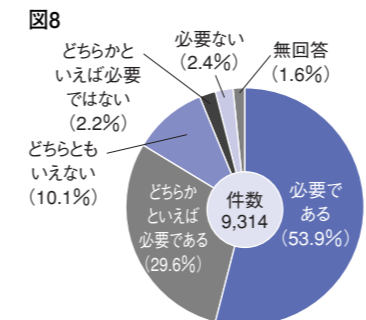
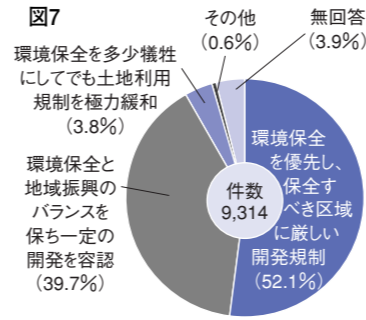
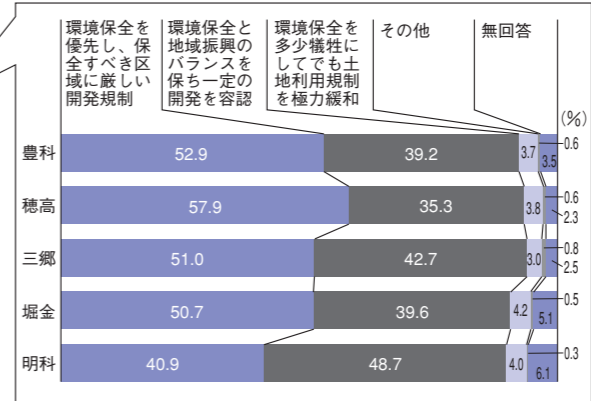


ては、「参加していない」人が、今後は大きく減少し、「環境関係や高齢者関係」の活動などに参加したいという意向を持つ

いる人が多いことがわかります。これは、地域福祉の推進に大きな力になるといえます。 ※「地域」の範囲は回答者の解釈による。

ルールへの必要性と統一ルールに対する意向

「今後、どのような土地利用のルールでまちづくりを進めるのが望ましいか」という問いに対しては、安曇野の田園風景として、「保全すべき区域への厳しい



規制」を望む声が必要強く、5割以上の回答を得、また、次いで「一定規模の開発を許容する弾力的運用」を望む声が必要と感ずる割合以上の人が必要と感ずる意向が分かりました(図8)。「要請があれば、参加する」という人が7割弱で最も多く、「積極的に参加したい」という人は、1割程度でした(図9)。

ルール策定作業、まちづくりの運営への参加意向

地区別懇談会を開催します

土地利用のルールづくりに関する検討は、大学教授らで構成する「土地利用構想調査専門委員会」と、農業・商工業・行政などの分野で構成する「市民検討委員会」の2つの委員会で開催しています。

土地利用の現状を認識するための現地視察や勉強会を実施、また安曇野市の将来の姿について話し合いが行われています。2月には、両委員会の合同会議を開催し、さらに検討を深める予定です。

地域	対象地区	日時	場所
豊科	成相・新田・本村・寺所・踏入・細壺・重柳	2月3日(土) 午前10時～	豊科ふれあいホール
	上鳥羽・下鳥羽・吉野・真々部・たつみ原・飯田・下飯田・中曾根・熊倉・アルプス	2月3日(土) 午後2時～	
	徳治部・田沢・小瀬幅・大口沢・光・桜坂	2月4日(日) 午前10時～	
三郷	小倉地区・温地区	2月17日(土) 午前10時～	三郷公民館講堂
	明盛地区	2月17日(土) 午後2時～	
明科	瀬・瀬沢・木戸・上生野・塩川原・荻原・南陸郷	2月18日(日) 午前10時～	明科公民館講堂
	大足・宮中・町・明科・光・上押野・下押野	2月18日(日) 午後2時～	
穂高	有明地区・北穂高地区	2月24日(土) 午前10時～	穂高会館講堂
堀金	全域	2月24日(土) 午後2時～	堀金総合体育館サブアリーナ
穂高	穂高地区	2月25日(日) 午前10時～	穂高会館講堂
	柏原地区・牧地区	2月25日(日) 午後2時～	

今回は概要を掲載しましたが、詳細は、豊科総合支所内都市計画課窓口または、市ホームページをご覧ください。

■問い合わせ 都市計画課都市計画調整担当 (TEL72・3111)